

令和3年度あきる野市スポーツ推進審議会（第3回）議事録

開催日時 令和3年10月26日（火）午後7時～8時40分

開催場所 あきる野市役所 3階 301会議室

出席者 江川委員、溝口委員、町田委員、吉田委員、菱田委員、伊東委員、高岸委員、金綱委員、田中委員

事務局 佐藤生涯学習担当部長、長谷川スポーツ推進課長、小林スポーツ推進係長、スポーツ推進係小黒、寺島

1 開 会 長谷川スポーツ推進課長

2 挨拶 江川会長  
佐藤生涯学習担当部長

3 議 題

（1）市民アンケートについて

（会長） それでは早速、（1）市民アンケートについて、事務局より、説明いただきます。

（事務局） （1）市民アンケートについてご説明させていただきます。資料の1をご覧ください。

アンケート対象は16歳以上のあきる野市民2,000人です。アンケートの内容は平成29年度に実施したアンケートを基に、問33までは、前回と比較する必要があることから、前回と同様の内容で作成しております。今回変更点ですが、1点目は、新型コロナウイルスの感染症の影響を受けて、スポーツの取り組みはどうだったかということ聞いております。また2点目としては見るスポーツの分野で、オリンピックも含めて、スポーツ観戦の状況を確認するということで、追加項目になっております。今後のスケジュールは、令和3年11月30日に発送、12月24日までに回答いただき、1月から2月末まで、説明の方は以上となります。会長よろしく申し上げます。

（会長） 追加された項目が、あるというご説明でしたので、する、見る、支えるの部分で、ご意見等ございますでしょうか。

（事務局） もう1点追加項目がありまして、支えるの部分で、スポーツを実施している以外に、コーチというところの質問の項目のページが増えております。

（会長） 直近の数字で、都が60%になっておりますので、市の推移が気になるころでは、あるわけですが、今日配られたパンフレットにあるようなスポーツらしいことも拾えるといいかなと思います。私の方から1点スケジュールの確認ですが、12月には回収が終わって、年明けの1月、2月ぐらいで、数字が出てくるという説明ですが、そのスケジュールでいくと、年度内に速報かもしれませぬけど、全体としては何%って数字が出てきて、1年延期となった2020大会直後ということになりますので、16歳以上がどうなったか、これでわかると思います。そこで、気になっておりますのは、児童生徒の波及効果みたいなものが、どこかで何らかの方法で拾うことは可能ですか。

（事務局） それについて、市から直接児童生徒の方にアンケートを行うことは、現在計画にござい

ませんので、難しいです。その中で、小学5年生と中学2年生の体力の状況をデータとしてとっていると思いますので、その結果をお示しできると思います。いかがでしょうか。

(委員) 全国体力状況調査を全学年行なっているの、毎年のデータが学校には蓄積されています。全国と比べて、あきる野の子供たち、それから各校の運動能力の状況がどうか、スポーツテストに基づいて行なっている状況がありますが、関心については拾えていないが、単純に体力に関しては、毎年のデータがあります。

(委員) 「する」「見る」「支える」調査項目が1年延期とコロナの影響で、我々が目指している70%にどういう風に影響したのか心配していました。また例えばこの今、事務局案として提示された質問項目であれば、みるスポーツでいうと、例えば家族で見ているとか、お子さんがいることさえ掴めれば、16歳で金メダルなど関心があった感じになるはずですけど、実は見ていなかった、あるいは見たことで、刺激を受けて、関心が高まっていたのかどうか。もちろん市内のもともとのスポーツ種目ごとにも関心が高まっていたのかどうか。そういう観点で必要な情報が拾えるかなと思います。

(事務局) では事務局より、今ご発言のあった内容で、12ページの最後のページのところに、家族そろって運動やスポーツをする日がどのくらいありますか、というのはこれは以前から調査の項目には入っていると思うが、単身でない親子世帯やそういう家族、夫婦の取り組みというのはここでは、見れるので、上でお子さんに丸がつき、親子などとなったときには、下にはお子さんがいる家族では、こういうスポーツの取り組みがあるというのが、ここでは読み取ることができます。29年度の時から行なっているようで、ここでどう読み取れるかわからないが、質問事項の中にはありました。

(事務局) そんな中で関心というコメントでの質問を、どのように記載するか検討する事項ということでよろしいでしょうか。

(委員) 5年前に、それまで行なっていて廃止になりましたスポーツレクリエーション大会について、今の時期に、私のところに時々、あれはそのうち行うのだろうか、という質問を何人からか寄せられているケースがあります。今回そのアンケートで、33番で、広い意味でいうと、イベントの開催とかご希望の内容ありますけれども、このスポーツレクリエーション大会を、希望してるのか、もうやめていいのか。その辺のところのアンケートの項目を入れられればいいかなという気がするんですけども。問33番の一つをとり出して、スポーツレクリエーション大会の再開を希望しますか。或いは、中止してよかったと思いますか。その辺のところを聞ければいいかなと思いました。

(事務局) その件につきましては、市としてのスポーツレクリエーション大会については、終了ということで、政策的には、決定しているところがございますので、具体的にその言葉を出すことは難しいと思うところですけども、何かの形でそういった人数を拾えるような、質問事項ができるかどうか検討させていただくということでいかがでしょうか。

(委員) 総合スポーツ祭には役員として出ていたんですけども、その地域によっては、高齢化して、参加できない状況であるというのがポチポチ出てきて、それが大きな原因で、中止になったと伝わっています。

(委員) 私は、中止になった理由は聞いています。ただ、本当にこのままでいいのかどうか、市民にそういう潜在的な希望があるのかどうかということ、せつかくのチャンスのアンケートで拾えたらいいかなというふうに思います。だからこれを拾って、50%以上だったらすぐやる、やらなきゃいけないかということではなくて、そういう希望があるのかどうか。そういう意思を拾ってもらいたい気がします。

(委員) 考え方ですけれども、スポレクについては町内会を含めて、また検討して、結構時間をかけて検討した結果として、やめた経緯がありますが、スポレクという名前を使わないまま、全体でどんどん運動する機会が必要と考えますかというそういう設問だったら、傾向だけわかるのではないかな。

(委員) それは賛成です。誰か市民一体となって、行なっている時はすごく行なっていたけれども、やはりそういう町内会によっては、町内会の方から、意見が出たと思います。

(委員) それと時代も変わっていますから、若い人たちでも、例えば項目も幾つかに絞って行くとか。市民が一体となつて行えるせつかく場所がありますので、それはそういう楽しみもあってもいいのかな。

(事務局) はい。検討したいと思います。

(委員) 確認ですが、私は35年ぐらいまで教員しており、その時には、青少健主催の地域の運動会がすごくありました。その運動会が元でスポレクが始まっています。竹竿立てて、何々自治会など、その後青少健の地区の運動会ってどうなっていますか。

(事務局) 実施している地域もあります。

(委員) あの雰囲気はまだ残っているのであれば、スポーツ専門に限らず、いわゆる楽しもうというそういうスポーツの一日という雰囲気は高まっていると思うがどうか。旧五日市地区にはないです。旧秋川地区だけであったので、一番最初スポレクにいったときに自治会は五日市ですから、知らない人たちからすると何だこれとは驚いていました。私は両方してるから、秋川市の雰囲気も知っているし五日市自治会だし、その辺でギャップが生まれました。そして旧五日市の方が撤退は早かったです。ですから青少健の流れがどうなってるのか、会議の後ろの方で言う予定でしたが、青少健の活動が、今、常時ある活動ではなくなっていると思います。私はこれは秋川市時代の一番最初、あきる野市時代の小宮小の二つを経験するのでよく違いもわかりますが、旧秋川時代はとにかく青少健の活動というのが、常時行なっていました。ですから私らが30歳で一番最初にはいった時は青少健という、小さな部署に行ったら、もうソフトボールの指導や相撲、ドッジボール、年がら年中その役員を行なっていました。そして、五日市地区の小宮小に帰ってきたら、もう、ポツンポツンと単発で終わってしまっていて常時がない。その辺の違いが根付く根付かないあると思うが、その辺の流れがどうなっているのかなと思います。ですからそれが子供たちにどう影響してるのか。子供が減ってきており、今ソフトボールのチームはほとんどありません。ドッジボール大会は学校主催で行うものだから、わっと盛り上がっています。ただその辺が、こういうふうな子供たちを巻き込んで雰囲気を上げようとした時に、何か起爆剤は無いのか。常時で活動させてこういうふうにする方がいいのか。教員の負担が大きくなると、当然今はできにくい時代になっています。そうすると、子供たちにどう要求をしてスポーツをさせていくのか。どういうふう小学生に取り組んでいくのか、それはアスポートや五日市総合クラブが盛り上げていくのがいいです。それにはまだ人口が少ないですから、その辺をもっと広げるために、どうすればいいのか。そのためには、この二つの団体ができてきてくれて、頑張ってもらっているわけですから、それをもっと活用していければいいのかなと思います。

(委員) スポレクに関しては、今、すごく勉強になりました。成り立ちとか。ただ秋留台公園で飲食が自由にできなくなったり、火を使えなくなったりとかありました。その辺で参加する人たちのモチベーションが下がったというのも聞いたことがあり、その辺も時代の変化の一つの流れでもあるのかなというところですけども。25年ぐらい前に、この地域に引っ越してきた立場で、育ちは違うところがあつたので、逆にスポレクを見て驚いた。すごいという驚

きがあったので、あれを復活させましょうというのは難しいと思いますが、あれに代わるような何かを秋留台公園で作ろうとするのは、この地域だったらできるのではないかという、そういうポテンシャルを持った地域だというふうには思っています。私のクラブで行うことは基本的な日常の活動を市民に提供して、週1回以上の運動をする成人をいかに増やしていくか。子供が運動やりだしたきっかけに、大人である私も、保護者の私もまた運動を再開しようかなという時に、環境を提供できるか。そういったところで、気軽なものから本格的にやりたい人までいかに大人で作ってあげられるかというのと同時に、単発のイベントとかがあったりすると、そのイベントと日常をリンクさせるということ意識して行っている。あきる野市の相撲大会に向けて、3ヶ月前から相撲教室を行なってモチベーションを上げたり、市の綱引き大会の参加人数については、うちのクラブからも募集をかけています。綱引きをする機会がなかなかなく、すごく単純明快で面白い勝負で、できるだけ参加者を促し、募って参加するようにしたり、行うことで日常を支えようとしている、構築しようとしている僕らが、イベントがあることで、またそこをリンクさせるというのができるので、それはすごくいい。何かの形で復活してくれるとまたそこにリンクさせて、そこで面白いことができるのかなというふうには感じています。

(委員) 五日市の方は、最近のクラブの状況としては、大人の方で参加してくれる方は、外から入ってきた方が、結構多かったです。もともと五日市とかあきる野に住んでいる方というよりは、外から入ってきた方が、軽く体を動かすみたいな形で行なってきてる方が多いので、やはり地域の中に入って、近所づきあいを密にとって、スポーツをやりたいというような方はどっちかというとな少ない印象を受けています。やはり個人的なところで身体を動かしたい、誰かとグループを組んで、楽しくやりたいというよりは、個人でやりたいというのが結構あるので、スポレクのような地域一体になってやるという部分に関して、果たして本当に若い世代、お父さんお母さん世代も含めて、興味関心というのは、僕のイメージ、感覚でいうと、最近は少ないと思います。開催しても積極的に参加してくれる方はほぼいないという気がします。そういう声もあるというのももちろんあると思いますので、そういった集計というか、データで取れたら面白いかなと。多分地域的なところで、大きく結果は変わってくるのではないかという気はしています。

(会長) スポレク以外で1万人の規模の市民が集まるイベントは今ありますか。産業祭は何人ぐらいですか。

(事務局) 産業祭、夏祭りは3万という規模のイベントとなっております。

(会長) 今スポレクを復活とかそういう議論ではなく、市民が一体となって、何かスポーツに取り組む機運をどういう形で盛り上げていくのか、一言で言えばレガシーという言葉がありますけれども。このまま何もしないで、声も聞かずに行くということもあると思います。これから秋に市民の声を聞くことができますので、東京都の調査だと18歳以上ですが、当市は16歳以上の声を聞くということになっておりますので、そういう点では、5年前に、16歳、だから、5年前11歳の子が答え始めます。子供は対象外とかそういうことではなく、むしろ、長い目で必要だということを、新旧の委員のこれまでの議論でもさせていただいていると思います。ただ、高齢者はもちろん増えてくるというのは当然ですので、高齢者の方の声、自治会とか町内会はもちろんあるので、いろんな立場でご発言いただければと思います。市民全体を取り巻くスポーツイベントに関しての情報を収集したいというようなことは趣旨としては皆さんご賛同ということになりますでしょうか。

(委員) もう一つ一大イベントを忘れておりました。夜明け歩きがありました。私が檜原にいた

頃から、1回目があって、2回目から参加しました。ここを出発し、檜原に向かって帰ってくる。合併後は市内だけのコースになった。あれはすごく良かったです。このデータを見ても、ほとんど住民の中で一番抜群に飛び抜けているのが、ウォーキングなんです。スポーツ推進員でも取り組んでおります。まず学校を巡るような、いろんなウォーキングをすると、多少人数が来ても、トイレの問題は、解決できます。親子で参加でき、雰囲氣的にも声が高まってくるのではないかと。高まってきたら、春のウォーキング・秋のウォーキングと考えてあげれば、年2回ぐらい市民300人で歩けるようなこともできるのではないかと思います。あの頃は夜明け歩きもあり、スポレクもあり、青少健の運動会もあり、秋川市自体はとにかく、学期に一回ぐらいは一大イベントがありました。

(会長) 今回この時期のこの審議会が何のスポーツイベントもない時期に、議題をしなければいけないというのが変わってきてると思います。来年のスポーツの日に向けて、どういう市がスタンスを取るのかというのはこの会の大事な視点だと思いますので、いきなり大きなイベントをやるというのは無理だとしても、土台となる情報、市民のニーズがあるのかどうか。いろいろご意見いただきましたけど、過去のイベントを私も全部知ってるわけではないので、そういったいいところ、今だったら、出来そうなところ、それから担い手としては、総合型クラブがふたつありますので、地域別ということもあるでしょうし、さらにここにはあまり強くでてきてはいないが、職域ということも当然あるので、そういう観点では、いろいろなアイデアを出していただければいいのかなと思います。ここで一度まとめさせていただくと、最初にこの情報を、追加で収集したいということについては、皆さん方のご賛同をいただいたということで、具体的な方法については事務局に少し検討していただくということでしょうか。そしていきなり調査という前に、一度委員の方に見ていただきますので、よろしく願いいたします。それ以外何かお気づきの点はありますか。障害者のことはこの期の前の審議会の場で、かなり揉んだところで、障害者スポーツに関して、項目としてはでき上がってますので、それほど大きく変更することはない。ただ、アンバサダーの問題が実は推進計画であって森井選手と木村沙織選手のアンバサダーという話が消えてしまっている。また委員の皆さん方新しく加わっていただいた方にも知っていただきたいと思います。

(事務局) アンケートの方で、最後についてまだ続きます。先ほどの意見のところ、今日いただいたご意見についてはご相談させていただきます。その後、皆様にご報告というような形でよろしいでしょうか、ということのご確認をさせていただきたいということですが、よろしいでしょうか。

(事務局) 今の質問の内容についても検討して、会長の方にお示しさせていただいて、会長一任でお願いしたいと思います。皆様よろしいでしょうか。

(会長) 今の事務局案でよろしいのでしょうか。それでは異議なしということで、ありがとうございます。それではまた、最後にもう一度お伺いする時間を設けますので、お気づきの点ございましたら、ご発言ください。

## (2) スポーツ施設の在り方について

### ・市民運動広場相撲場

(会長) それでは議事の方進めさせていただきます。2番目の、スポーツ施設については、資料の方をご覧くださいながら、ご意見いただきたいと思います。まずは、市民運動広場相撲場の件です。では、事務局の方からご説明お願いいたします。

(事務局) 市民運動広場の相撲場についてご説明させていただきます。資料2をご覧ください。

市民運動広場の相撲場の在り方については、先日書面開催ということで、「異議はありません」と全員一致で表決されました。

(事務局) 審議会の各委員からいくつかご意見がありまして、相撲場の廃止には賛成ですが、駐車場として整備することに関しては、疑問があると。駐車場整備＝スポーツの推進と位置づける根拠と、そういったことを確認したいというお話でした。本件について、ご説明申し上げたいと思います。こちらから、考え方を示させていただきました内容の中には完全駐車場として、予算をかけて整備していくということではなく、駐車場機能を持たせて、このエリアの活用を図っていくという内容でお示しさせていただいたところです。なぜ駐車場というところでございますが、現在、例えば子供相撲大会であるとか、連盟さんが実施する近郊大会等は、駐車場の台数があのエリアを使わないと、足らない状況でございます。そういった大会を開催する場所として、例えばファインプラザについては、駐車場の台数が少なく、大会が催せないということがございます。秋川体育館については、周辺施設の都立の秋留台公園もございまして、大変スポーツが盛んに大会等を催せる環境があり、スポーツ推進にあたってはいい環境だというふうに考えております。その中で、やはり参加者が、公共交通が少ない中で、参加するにあたってはどうしても車が必要です。今も乗り合わせて来ていただいている状況はありますけれども、駐車場、車を駐車するスペースとして、必要だというふうに考えております。この考え方は、遡れば相当前から、あそこは駐車場として臨時的に活用をしてきている状況がありますので、そういった現状を踏まえて、その駐車台数がある程度確保できるからこそ、大会というのが開催でき、そこでスポーツが振興されているというふうに捉えております。そういったところで、駐車場として活用していくことが、スポーツの推進に繋がっているというふうに捉えておりますので、このようなご説明を申し上げたということでございます。以上でございます。

(会長) ありがとうございます。答申してしまっているのですが、これについては議題の設定上そうなっていることですので、そういう補足の説明がありますけれども、ご質問、ご意見等、ございましたらお願いします。とても貴重なご意見等、こういった前向きのご提案があれば、できるかどうか現実とは別として、ご意見があるということが、大変ありがたい。

(委員) 例えばスケボーを秋川でやっています。このオリンピックでいろいろスケボーが有名になって、市内のあちこちでやっています。目立たないところや車が少なくてしょうがないけど、場所がない。正式に言えばダメだが、若い人たちにとってなんかやりたくてしょうがないけど、場所がない。苦労しながらスポーツに取り組んでいる姿をみると、東京でオリンピックをやった記念に小さなバスケットゴールやそういうレガシーというか、2020年の記念に作ったというのが、何かあればいいなという気がする。あその場所でできるものがそう多くはないが、半分ぐらい補強して、若い人たちに、新しいスポーツをここでやってみてもいいですよという場所を提供できればいいなということで、提案させていただきました。そういう人達の何かニーズを汲み上げるような仕組み、そういうものも作っていいと思う。

(会長) ありがとうございます。学校関係では、スケボーに限ったことではないが、子供たちが運動できない要望とかはあつたりしますか。

(委員) 学校ネットワークの状況によると思いますが、基本的に校庭開放を放課後にやっている学校とやっていない学校があります。一番ネックになっているのは、校庭開放の時間に管理人さんがいない状況でけがをした場合に、施設は学校の施設ですので、学校の責任が問われてしまいます。誰も見ていない、基本的にその時間は子供の対応する時間ではありませんが、学校の校庭の中でけがをされると、そういうことが起こりうるので、今学校の中で、校庭開

放をしていない学校がいくつかあります。ただいくつか地域の状況によって、その貴重なスペースとして使っている部分もあります。あと、学童クラブとかで、優先的に使っていたりするような状況もあるので、子供たちの中で特に遊び場が欲しいとかはありません。子供たちを狙ういろいろな犯罪も起こっている中で、学校のエリアは比較的安心感があるので、そういう意味で開放していたりしています。特に運動するスペースとして、欲しいっていう声がたくさんあるとかという状況ではないですけど、学校のスペースが有効に使えることは大事だと思っております。

(会長) 防犯という点もちろんできますし、安全安心なスポーツ環境というのは、うたってそうであっていいです。そのあたりは、学校に負担がいつているのかなと個人的にもあると思いますけれども、ただ限られた資源ですので、活用するというのはいいことだと思います。ありがとうございます。

(委員) 方向としては、学校の中でなかなか人を出すわけにはいかないですけど、市の方も予算の関係もちろんありますが、要するに校庭を開放する上で管理していただける方がいてくださるととてもいいです。

(会長) 今日は、そこの議論に入らないようにしていましたが、外部指導員問題など、いろいろありますので、それはまた別の機会にぜひ取り上げたいと思います。今副会長からのご提案は駐車場という、使用用途の提示に対しては、何か東京 2020 のきっかけがあるので、そのような使い道としての提案ということで、駐車場にすることで運動施設が使いやすくなるというのは苦しい説明ですけども、わかりやすく、何か駐車場以外であるのでしたらと思ってお伺いしました。特段大きく何かあるわけではないと思いますが。話がそれるかもしれませんが、市民運動広場の相撲に関するニーズとか状況というのは皆さんに共有していただけたかと思っておりますので、できれば駐車場が、いろんな利用促進に繋がってほしいという意見が出ていますが、追加とかございませぬか。

(委員) 今まで、そこを活用していたからイベントが成立したというところで、駐車場にすることが、スポーツ推進に繋がるというところの根拠はすごく理解できました。副会長のおっしゃっていたレガシーというか、例えば市民運動広場の野球場 A、B 面のところも普段はスポーツ施設として使っているけれども、体育館とか秋留台公園で大きなイベントがある時には駐車場になっていることと同じような感覚で、こういうスケボーや、スリーバイスリーのバスケットというのが、例として出ています。アスファルトなりで固め、その端っこにルピア広場のようなバスケットゴールを設置すれば、駐車場として全く問題なく、駐車場じゃない時に、何かの形でフリーで使いたい、或いはスケボーが、本当に車とか人通りとか拘らずにできると、固めるだけでそのような可能性もあると思います。本当に私もこの辺に住んでいて、今だったら雨間立体のところの側道に入るところが最近スケボー場になっています。またファーマーズセンターの前の道がまだ開通していないため、車の路上駐車はあるけど、通過しないと思いますので、スケボー好きはとにかくどこかやれるところがないか探して行なっています。都心だと住宅地のところでスケボーをやっている人がいて夜うるさいなど、その辺なんか比較的あの程度の場所だったら、住民もいませんし、比較的寛容な場所になると、そしたら逆に、雨間立体の側道でやっている人たちが流れてくれれば、逆に、安心して人が通行できるのかななど、検討の余地はあると思います。駐車場にするけど、そうではない時に日常はこういうふうに使われていますということで、ゴールつけてラインを半円ひけばスリーバイスリーで、2020 にもなりますし、スケボーも今回新種目だったりするので、可能性があると思います。

(委員) 今話を聞いて思ったことがございます。いずれにしても何か作るなら中途半端なものはいけません。管理等安全に運営できるような状態でないと駐車場は車が止まるわけで、制限が必要となります。中途半端なものは、私がもし作るようならば、逆に設けない方がいいと思います。レガシーというくらいだから、ある程度説明がつくようなものを作るとなると、よく考えて作らなければいけないかと思えます。作ることに反対ではないです。

(事務局) 委員の皆様、貴重なご意見、施設の可能性という部分もございますし、課題という部分も本当に貴重なご意見ありがとうございます。私はここで補足として、今回、この相撲場の廃止について、様々これまでの規定をひもときまして、確認した事項をお伝えをさせていただきたいと思えます。その件は、実は市民運動広場相撲場として規定している設備は土俵だけでございまして、あそこのエリアを、実は市民広場と呼んでいなかったということがわかりました。今回廃止する場というのは、あくまで土俵だけで、それ以外は、体育館の敷地の一部ということで、管理運営については今は指定管理者が行い、継続して行っているという対応になります。そのため、そこだけ全部廃止になるから次作るよという話で動いていくということではなくて、その土俵だけ廃止しますので、山を削って平にしていこうということは、この後、時期を見て行なっていくことかなと思えます。当面、利用状況というのは変わらず、管理していくということになるということで、ご理解いただければと思えます。

(会長) 私の知ってるところですと、品川や都心でなんでそんなことをやっているのだろうと思えますが、土俵があるということです。ですからなくなるのは、ある意味では、流れではありますが、それだけ大きな決断ですし、それからメンテナンスとか、現実問題もあります、意見になりましたけれども、悲しいというそういう感情をきちんと表明されたということも大事なことだと思えます。そういう前提で進めていただくということで、答申してしますので、ご承知おきいただければと思えます。

(委員) 土俵の方が使われなくなったのは、スポーツ推進委員がメインとする子どもすもう大会で、この猛暑になったここ数年のことと熱中症対策と、雨の時の対策のためです。もう降った瞬間に体育館にマットをひかなければいけないということがあり、5~6年前から体育館の方を使わせていただいております。大会の安全面では、柔道の畳をひいた上に、マットをひいてやっているわけで、それが安定しているため、そちらへずっと流れています。私が30何年前に行なったときは、すもうはメインでした。そして西秋留小学校の外に土俵があり、そこで熱心に取り組んでいました。青少健の会長さんもみずからまわしをつけて、稽古をやっていました。それがだんだん少なくなっているというのが現状で、相撲対決でも盛り上がりますが、参加人数も随分減ってきているでしょうし、土俵は撤去でいいのではないかと思えます。桜の木があって、東屋があって、あのままでいいと思えます。真っ平らにして駐車場にする。それで私も柔道大会でお世話になっております。あそこで開けていただいて、こうやってたくさん車が入ってきて助かっています。私が一番不安なことは、出入口が、一方通行で、そこしかありません。その点だけ考えていただけると、使い勝手のいい臨時の駐車場になると思えます。あそこに1人派遣しないと、交通整理ができないです。ですから一方通行の臨時駐車場にするとあまり手のかからない臨時駐車場になります。

#### ・市民プール

(会長) それでは、次の3点目に行きたいと思えます。屋外プールについて資料の方ご覧いただきながら、ご意見いただければと思えます。事務局の方からご説明お願いいたします。

(事務局) 屋外プールについて説明いたします。資料3をご覧ください。施設の老朽化が著しく、施設を利用するためには大規模な改修が必要であることから、令和3年3月にプール事業の

中止を決定し、本市のスポーツ推進において屋外水泳場、屋外プールの役割をどのようにするか、スポーツ推進審議会の皆様に何回かに分けて、ご意見をいただきたいと考えております。本日は現状を説明し、情報共有をしたいと思っております。資料3の次のところから、順番に説明していきたいと思っております。まず1については概要になりますので、こちら割愛させていただきます。2、現在の施設の状況については、老朽化が著しく大規模な改修を行わないと使用ができない、プール槽補修工事及びプールサイドの補修工事は、改修した場合でも6年経過後には再度改修が必要になります。また、長期にわたり使用可能とするリニューアル工事費用は、設置当時の積算から基礎工事を除いた経費に物価上昇率を乗じた額が想定され、約10億円近いと考えております。次に3です、屋外プールの管理者について、またこちら割愛させていただきます。4、近年の使用状況については、令和3年度は施設の老朽化が著しいため休止。令和2年度は新型コロナウイルス感染症対策のため休止。平成29年度から令和元年度までの7月から8月20まで、7月中旬から8月下旬の約42日間ですが、平均約3万人が利用しました。ただ、屋外施設のため天候によって、影響を受けやすいので、多少人数の方に差が出ております。5、近年の収入状況については、令和2年から3年度は施設休止のため収入はありませんでした。また平成29年度から令和元年度までは平均約420万円の収入となっております。6、近年の修繕料については、毎年修繕しており、金額は約100万円以上の支出になっております。7、プールの運営休止に伴う指定管理費の減額については、令和2年、3年度、コロナと施設の老朽化ということで休止になっておりますので、523万円減額となっております。説明の方は以上となります。

(会長) それでは今のご説明で何かご質問、ご意見等ございましたらお願いします。

(委員) 福生も同じようなプールがあるかと思いますが、あれと比べて、どういう利用状況なんですか。

(事務局) 人数については、比べておりませんが、規模としては、あきる野市のプールの方が大きいです。次回お調べします。またそういうご質問があれば、本日お答えできないものについてはまた次回にお答えしたいと思いますので、本当に質問でも結構です。していただければと思います。

(会長) コロナ禍で施設やイベントが軒並み廃止、それからメンテナンスが効かない老朽化ということで、チャンスが減ってる中で、当市が残していくべきものや、ここだけは絶対に縮小してでも、繋げなければいけないもの、それからいい機会だから大きく変えていくなど、このタイミングがチャンスだと思います。多くの市民の方が使える施設という在り方について、ぜひこのタイミングで提案していければと思います。

(委員) 使用料はいつから50円なのでしょう。

(事務局) 正確には次回と思いますけれども、合併からです。それにつきましても、次回でお願いします。

(委員) 単純に安すぎる。近隣の市が幾らぐらいでやっているのか知れたらと思います。

(会長) 施設関係の資料とともに整理して、次回について、検討していければと思います。今日は、施設関係、相撲、プールということでありましたけれども、これからもスポーツ推進に関わる環境整備ということでは、今までおわれて計画を検討していました。老朽化でどうにかしましょうなど、そういう議論ももちろん必要ですが、むしろこういうのが必要になるという整理をしていただいて、スポーツ環境を整備するということでも進めていきたいと思っております。

(会長) 議事が若干交錯しましたが、もう一度、全体として、ご発言いただく時間を設けたいと

発言していましたので、元に戻りまして市民アンケートなど、それから相撲、プールそれ以外でも結構です。今日は、全ての委員にご発言いただいているかと思いますが何かありますか。

(委員) アンケートは毎年ではないんですか。先ほどの話だと5年前に行なったという話ですけど。

(事務局) 直近では29年度に実施しております。計画の策定にあたってアンケートを実施して状況を把握して計画をさせて、皆様にご意見いただくということで、29年度の時には、中間での見直しというものも想定してました。今回、令和5年からの計画策定に向けて、ここではアンケートを実施するという内容でございます。

(委員) すごく今学校の環境は変わっています。青少健とかも含めて、母体となっている町会の加入率がとにかく低いことが町会長さん自治会長さんから、毎年悩みとして聞いています。先ほどあった地区ごとの青少健運動会というのも残っているところはありますが、もう高齢でなかなか大手を振って参加ができない。子供たちは学校を通していろいろ声をかけたりしますので、ある程度子供は集まったりしますが、現状、なかなか難しい。特にその学校の中のスポーツ環境が大きく変わってきていて、特に中学校の部活動ももうなくなる方向ぐらいの勢いで今動いています。小学校の中でも先ほどあった、いろんなスポーツイベントはどちらかということ、参加者が少ないので減ってきています。施設に関してはプールとかも、学校プールを夏休みに開いても、子供たちが来ない。非常に少ないです。それはなぜかということ一つは暑すぎる問題です。プールが高温すぎて開けない。プールの水温が高過ぎて開催できないということも含めて、夏期学校プールというものの自体が、だんだんなくなっていく方向になって、学校によってはもうやらないという学校も出てきている状況の中で、どこもプールがなくなると、寂しいという思いも、正直あつたりします。もし、これが5年に1回のアンケートであるならば、これから本当に大きく変わっていく中で、市民の方々が本当にどのような施設を欲しいのかなというのが、聞けたりするというのが、先ほどあったウォーキングなんか需要がすごい溜まっているので、平井川沿いに、本当にランニングとかウォーキングのできる設備を整備するなど含めて、いろいろな可能性はあると思います。

(委員) 話が重複するんですけど、今例えばあきる野市のスポーツ施設をみた時に、2、30年前にその当時最大のニーズに合わせて、スポーツ施設を作って、今日も二つ廃止の方向を考えていますけれども、当然時代とともに、スポーツの内容も量も変わってくると思います。今の時代で、子供たちにあったスポーツができる施設を今準備しないと、また、5年10年何もできなくなってしまう。本当にそれでいいのだろうかという気はしています。当時オリンピックの種目を見ていると、昔の陸上と水泳だけではなく、陸上の中身も変わってきた。そういうようなものに合わせた施設について、そろそろ真剣に考えなければいけない時期に来ているのかなという気はします。コロナのせいでもあります。今小学校中学校ぐらいの子供たちが運動ができない、或いは、部活もできない、いろんな状況の中で、もうだんだん気持ちも萎縮してしまっているのではないかなというのは、そう感じています。私の主張だけではなく、先生も感じているとは思いますが。そういう状況の中で、我々大人は、自分たちが何を残せるのかということが必要ではないかと思います。

(委員) そういう意味では、このスポーツ推進のジャンルに入るのかどうか微妙なところですが、例えば、eスポーツに関して全く入っていないが、今後間違いなくある程度の広がりは見せる分野ではあると思います。そういう少し先の話というのが見えていないのは、残念な感じがします。

(会長) ご指摘ありがとうございます。ここに、どこにもeがない。議論が分かれていると思いますが、実はスポーツ吹き矢がスポーツなのかというところから始まり、将棋で、1週間寝ずに打つというのが、スポーツなのかどうかということから始まり、ボッチャはいいという話になったりしますよね。委員の発言にある、eスポーツというドンピシャな種目ということではなくても、あらゆるスポーツの機会を、この審議会では取り上げるようになっておりますので、ぜひそういう点では、ご意見を伺いたいと思います。委員のご発言は、何回かに1回しかない調査ですので、そういうニーズを拾いたいということだと思います。他の委員の方、ご意見いかがでしょうか。eスポーツという種目をかくかどうか別ですが、現実問題、もうコロナで外を出るなど言ってるわけですから、やはり、無視できないスポーツでしょう。

(事務局) 情報として、お伝えすると、eスポーツというところで、今回オリンピックでもeスポーツを推進していくという当初そういう流れの中でeスポーツということで、普及が図られていた様子がございました。このeスポーツについてはなかなか難しく、その関係からパリについては、eスポーツは取り入れない。eスポーツは若者を取り入れるために入れたけれども、課題が多いため、今度はバーチャルスポーツで何とか若者の関心を得て、オリンピックを開催したいという動きに現在なっているというようでございます。バーチャルスポーツはスポーツであると、市民全体で納得するにはまだ難しい分野だというふうに判断しているというところがございます。

(委員) 屋外プールの関係なんですけど、A市にも屋外プール、流れるプールがありますが、それは中止になりました。ただ、市民要望としてはすごく、始めてくれというのが多いです。市長もそれについて考えていますが、経費は赤字になります。これを維持するためには、相当市の方としても、財源を相当投入しないと実現できないですよ。

(会長) そのような様々な情報を我々も、収集して、きちんと判断できるように、事務局からも情報提供をいただければと思います。ニーズにすべて答えるということも難しいかもしれませんが、当市はこのような規模で、これまでの実績もありますし、ちょうど今折り返しというところは、これから大きく変わってくるタイミングだと思います。従来の枠組みも大事ですけど、少し先を見越して、議論していく場にもなってるかと思います。

(委員) オリンピックで見た時に、スケボーなどの競技はかなり大きな施設を組み立てて作ります。あの解体は大変なわけです。だからそのまま場所を残すということでやっているところもありますけど、この市にこの施設を作るとするのは、少し無理ですよ。あれを町の中でやっている、昨日のニュースに出ていましたけれども、スケボーが滑った時に、本人がひっくり返り、道を歩いている人のところに、ボードがぶつかったりして、そういった危険があります。やはりしっかりとそういう施設を作ってあげたらと思います。市の力ではなくて民間の何かそういう施設を作ってくださいなところがあれば、助かると思います。

(委員) 昔ですけど、市で、広報にニュースポーツ募集8種目ぐらい載せていましたが、今あまり市で計画してやっておりませんよね。実際に8回に渡ってニュースポーツを行い、終了すると市でニュースポーツ修了証みたいなものをくださって、私もミニテニスとかターゲットバードゴルフとか、新しいスポーツを参加して一通り行なって、最後にミニテニスでした。今日で終わりだねということで、ミニテニスを来週水曜日に開放時に借りてやろうよといって7、8人残ってやり出したんですね。それが今のミニテニス、だから初代、私たちがまだ無名の時に終わった後に続けたのが、あと、その中に1人一所懸命やったださる人がいて、募集したりして、それで今も全国大会をやるようなミニテニスに広がり、現在もありますよね。そういう指導者が来てくださって、それで、いろいろなスポーツを試してみる。な

んかそういうのもすぐきっかけにはなると思います。

(委員) そういうのがきっかけになって、いくつか団体ができました。私も、団体の人数が減ってきているので、会員に手紙を出して、1回ワンコイン、1ヶ月でも出てきて、一緒にやりましょうと呼びかけたら2人ぐらい出てきました。何か声かけをしないとコロナ禍で潰れてしまう団体が出てくるとは思います。

(会長) 大事なことだと思いますので、コロナ禍に囚われず、これからどうしていくのかという観点でのご意見ですが、また、機会を設けて、議論を深めたいと思います。  
それでは、予定された議題は以上です。ご協力ありがとうございました。

#### 4 その他

(事務局) 先ほどから意見が出ておりましたが、新型コロナウイルス感染症対策についてということで、まず10月25日から基本的対策徹底期間における対策については、今施設の方は、開館時間は通常通りに戻りました。ただ施設利用は制限を設けながら運営しております。施設の利用は、現在人数を制限し、昨日から、初めて市外者の受け入れを始めました。昨日午前中に電話した時に、朝9時からファインプラザのプールは市外者の方が2名ホームページを見て、もう泳ぎに来ていたり、午後3時ぐらいに、市民プールの方に電話したら、今日は5人ぐらい市外者の方々が予約で、泳ぎに来ておりました。引き続き利用者については、当たり前になる日常になってくるとは思いますが、検温、手指消毒、ソーシャルディスタンスをお守りいただきながら、利用していただきたいと思います。

#### 5 閉会